

第 6 回 野洲駅周辺地区整備検討委員会 ～ 議事概要 ～

日時：平成 24 年 3 月 12 日（月） 14：00 ～ 16：00

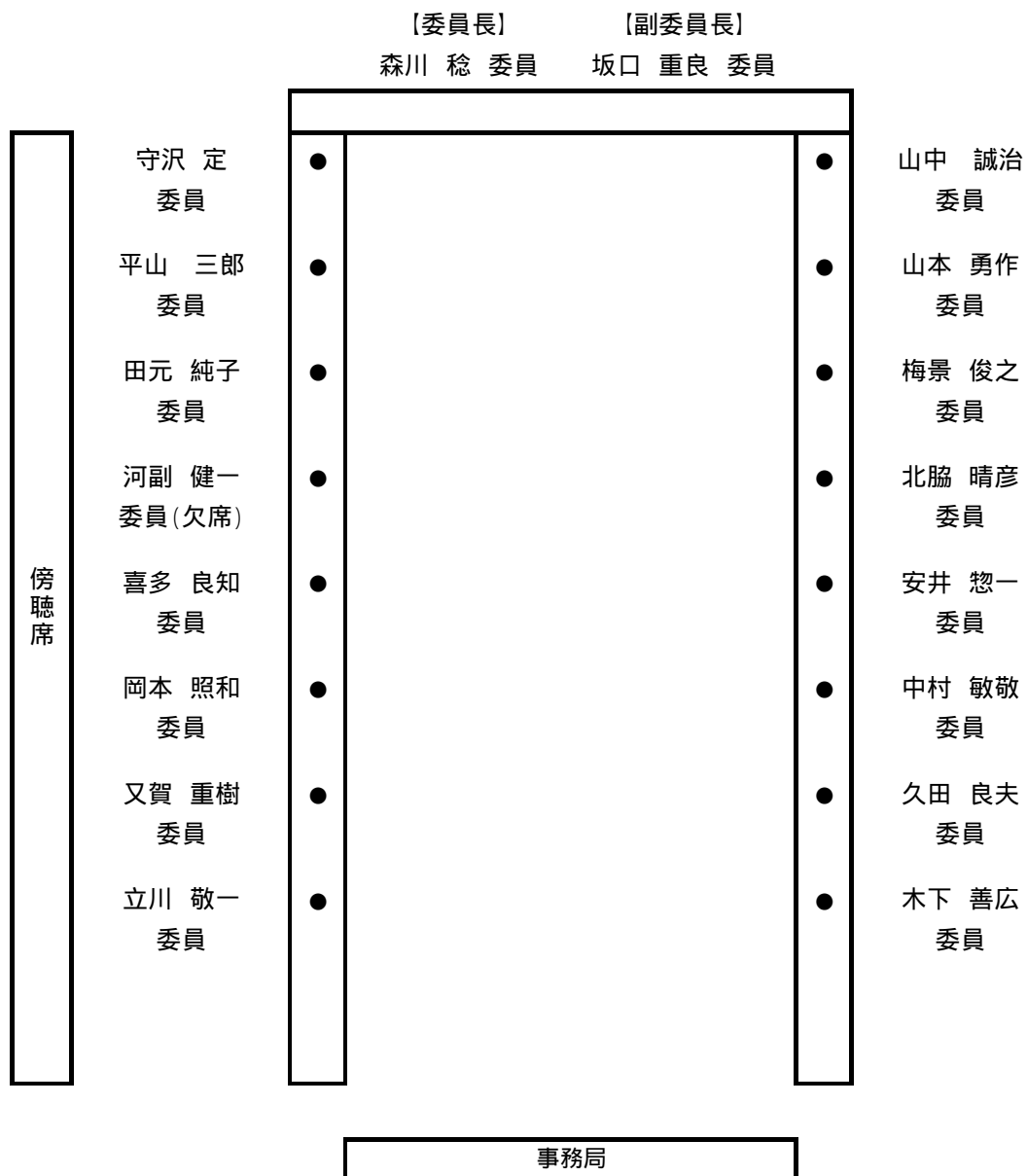
場所：中主防災コミュニティセンター2 階 研修室

■ 議事次第

1.開会	
2.あいさつ	
3.議事	
3-1.野洲駅北口駅前広場整備について	1) コンセプト 2) 現在の駅前広場の状況 3) 問題点の整理 4) 整備計画(案)の比較
3-2.野洲駅南口駅前広場整備について	1) 南口駅前広場計画図 2) 南口駅前広場 事業計画 3) 歩道舗装のレイアウト(案)
4.その他	
5.閉会	

■ 参加者

	氏 名	所 属 等	備 考
委員	森川 稔	滋賀県立大学特任准教授	(委員長)
	坂口 重良	野洲市観光物産協会	(副委員長)
	山中 誠治	野洲学区自治連合会	
	守沢 定	北野学区自治連合会	
	大堀 義治	駅前自治会	欠席
	平山 三郎	駅前北自治会	
	山本 勇作	野洲市老人クラブ連合会	
	河副 健一	野洲市障害者関係団体連絡協議会	欠席
	田元 純子	野洲市女性団体連絡協議会	
	梅景 俊之	野洲市商工会	
	喜多 良知	迷惑二輪・四輪をなくそう推進委員会	
	北脇 晴彦	一般社団法人 野洲市給与所得者の会	
	岡本 照和	守山警察署交通課	
	安井 惣一	滋賀県南部土木事務所道路計画課	
	又賀 重樹	西日本旅客鉄道株式会社	
	立川 敬一	近江鉄道株式会社	
	大槻 宜司	滋賀バス株式会社	欠席
	中村 敏敬	光タクシー株式会社	
	久田 良夫	近江タクシー株式会社	
	木下 善広	野洲小学校	
事務局	野洲市都市建設部都市計画課		
	株式会社エイト日本技術開発		



図．第6回野洲駅周辺地区整備検討委員会 座席表



写真．委員会風景

■ 議事概要

委員による意見交換（野洲駅北口 コンセプト、現状、問題点について）	
・コンセプトはバリアフリーの観点が大きい。北口も南口と同様にバリアフリーも念頭に入れるべきと思う。交通問題にウェートを置いて整備されると思うが、バリアフリーを基本に検討していただきたい。	（委員）
・北口線もロータリー内はフラット化し、バリアフリー化する予定である。また、京セラの方については、バリアフリーの工事を先行して着手している。	（事務局）
・バリアフリーという言葉、キーワードとしてコンセプトに入れてほしい。	（委員長）
・「喫煙所がない」とアンケートで挙げられているが、既に対応したのか。	（委員）
・南口、北口とも12月に喫煙所の整備が完了している。	（事務局）
・南口は、拡張していることから条件的に恵まれている。北口は限定された敷地であるから、南口と同様のコンセプトは難しい面がある。出来るだけシンプルに対応すべきと考える。	（委員）

委員による意見交換（野洲駅北口 整備計画(案)について）	
・事務局としては、総合評価としてC-1案が最良と考える。ロータリーを2つに分けるB案は、車両の走行経路調査結果より現状の交通形態から考えると難しい。	（事務局）
・計画条件で、自家用車の乗降スペース（8台）となっているが、雨の日の11台を確保すると考えたほうが良いのではないか。	（委員長）
・基準では、通常の日々の交通量によって規模算定を行うことになっている。よって、通常の日ということで、晴れの日々の数値を採用している。	（事務局）
・雨の日の数値を採用するには、約430㎡の拡張が必要となり、周辺の土地の状況から敷地を拡張することは難しい現状がある。	
・バス、タクシーは対応可能と思われるが、特に自家用車が渋滞の原因になっており、駅のすぐ近くに停めたいという思いが混乱させることになっていると思う。大津は、自家用車に対して非常に冷たい駅前広場になっており、タクシー、バスの順に駅に近いところに止められ、駅の近くに自家用車を止められるスペースはほとんどない。野洲は、自家用車を優遇している計画のようであるが、特殊性、市民性等あると思うが、基本的な考えはこれでいこうということか。	（委員長）
・野洲の場合は、大津とは異なり、路線バス、タクシーよりも自家用車の利用が高く、今後も変わらないと考えられる。そのため、このような形を提示させてもらった。	（事務局）

（次項へ続く）

委員による意見交換（野洲駅北口 整備計画(案)について）	
・北口は、規模算定結果から現在の面積が適正であるとなっているが、人口増加や将来的な南口から北口の地下道の構想も考えると、拡張が必要になるという話もある。B - 2案で拡張の話がでていたが、この計画でどこまでできるかは別として、将来のことを考えると前段として用地の取得も考えるべきではないか。市街化区域の拡張も含めて、もう少し将来を見据えた議論ができないかと思う。	（委員）
・人口については、総合計画の見直しでの開発等による人口増加を反映させた値を使用して計算している。また、工場の増員については、歩行者動線を使われる方が増える可能性が高く、今回の整備で安全に利用していただけるように考えている。 ・敷地の拡張が必要となる案も提示しているが、敷地の拡張については財源的な問題として、今回は交付金の期間内で整備する必要がある、用地買収は難しいと考えている。	（事務局）
・敷地の拡張は、駅前広場を考えるときの大きな前提の話で、一度整備をしたらそう簡単には作り変えることは難しく、長期的な視野で考えるべき問題と思う。	（委員長）
・傍聴者の意見で、横断歩道橋は必要ないというのがあったが、C案は横断歩道橋を設置するという案と受け取ってよいのか。	（委員）
・C案は、横断歩道橋を設置する場合ということで提示している。資料5のP.11の内容は、1人の方の意見でこうものがあったということを報告しているものであり、このような意見が多いというものではない。	（事務局）
・敷地を拡張しての計画検討の余地はないのかを含めて、御意見をいただきたい。	（委員長）
・将来を考えると、B - 2案がベストではないかと思うが、今日どれにするかを選ぶのは難しくもっと議論が必要と思う。用地拡張が必要な案が良いとなれば、先ず用地買収を考えるべきではないか。用地買収は間に合うのか。 ・今日提示してある案は、乗る人を優先した計画のように思えるが、どちらが良いのか分からないが、いろんな人の意見を聞く必要があるのではないか。 ・横断歩道橋については、疲れて帰ってくる人は歩道橋を上らないといけないと思うと、利用する人が少なくなり下を渡る人がでてくるのではないかという懸念がある。	（委員）
・確認しておくが、今日の委員会で結論を出さなければいけないものではない。用地拡張の余地については、スケジュール的に議会の関係とかもあると思うがどうなのか。	（委員長）
・案を提示しながら始めから否定するようで申し訳ないが、用地交渉は相手もあり期間内では無理ではないかと考える。B - 2案は、B - 1案の正着できないバス停の問題点を是正した改良案として提示しており用地拡張が必要になる。 ・車両の走行経路調査結果を報告したが、B案は現存の走行経路を妨げることと、狭いロータリーを2つに分けるためますます狭くなるという問題がある。	（事務局）
・可能性のある限り、拡張してほしいと思う。	（委員）

（次項へ続く）

委員による意見交換（野洲駅北口 整備計画(案)について）	
・ アンケート結果を見ても横断歩道橋の需要は低い。ただし、横断歩道をいまのまま残すのはまずいと思う。A案の場合、短くなるがロータリー内に横断歩道が残ってしまい安全性に問題があるのではないかと。B案は交通形態が変わり、1つロータリーが小さくバスの運行が難しいと思われる。C - 2案がベストであろうが、用地の問題でC - 1案が良いと思う。そのなかで、バス、タクシーの位置をもう少し検討していただきたい。	（委員）
・ バス、タクシーの事業者としてはどうか。	（委員長）
・ 現況は、タクシー乗場が縦列で2台、その後ろに降場がある。乗降スペース近くで自家用車が停まりトラブルとなることがある。自家用車とタクシー乗降場の間隔をあけてほしい。ロータリー内に自家用車待機所があると、歩行者の横断が考えられ安全対策が必要ではないか。	（委員）
・ 自家用車待機所は、南口と同様の考えで乗降は禁止する想定である。	（事務局）
・ 先ず一番は、歩行者と車両が交差しないことが必要と思う。バスの降車場はもう少し駅舎に近いスペースにほしい。近江八幡方面からの利用者が最も多いが、降車場までロータリーを回らねばならず、雨の日や列車時間の関係で、バス降車が指定の場所以外で行うことがあると思う。ただし、バスプールでの乗降は、企業貸切の通勤バスのようである。	（委員）
・ A案は、歩行者と車両が交差してしまう。B、C案は完全分離が可能。	（委員長）
・ B案は、入ってきた自家用車両はどう通行するのかよくわからない。	（委員）
・ B案は、ロータリーを2つに分ける案で、両ロータリーとも自家用車両は入ることができる。図のピンクの細い帯のところで乗降する。	（事務局）
・ 賑わいの観点からすると、ロータリー内に横断歩道をつくるようなショートカットにこだわらないほうが良いのではないかと。遠回りで周りの商店の活性化に役立ち、賑わいも増してくるのではないかと。	（委員）
・ バス、タクシーレーンは必要なのか。バス、タクシーレーンのところを乗降場にして、歩道を拡張したらどうか。歩道の線路側に簡単な建物等を作ったりしたら、賑わいも増せるのではないかと。	
・ 事業費としては交付金は大切であるので、 時間的な問題がある 。南口は、用地買収がなんとか間に合ったが、北口は5～8年か分からないが、買収ができるまでは今の敷地で暫定的な整備で運用して、買収後に再整備していくという段階的に考えたらどうか。	（委員）
・ 今日いろいろ意見をいただき、それを整理し反映しながら検討、修正していき、次回にどの形でいくかつめたいと考える。	（事務局）

（次項へ続く）

委員による意見交換（野洲駅北口 整備計画(案)について）	
・バス、タクシー業者としては、どの案でも運行は可能か。	（副委員長）
・B案は、一定のところでは出入りできないので、現状に比べ方向によっては料金が変わってくる。白木屋側から入りたい。A案は、そういう意味では余り影響はないと思われる。	（委員）
・北口は車両の出入口が多く、どこも横断歩道があり歩行者と交差する。A - 2案が工事費も安いし良いと考える。歩道の位置をずらしたり、自家用車待機所を移動すればA - 2案でいけると思う。歩行者の主要動線の白いところは何か。	（副委員長）
・中の島で、歩行者だけの場所、広場的な滞留場所になる。	（事務局）
・中の島に、自家用車待機所を設けて小さくさせるようなことはできるか。	（副委員長）
・可能と思うが、横断歩道等について公安と協議する必要があると思う。	（事務局）
・各委員持ち帰って考えてほしい。	（副委員長）
・ベースは今日提示した案で検討していただき、次回に案を絞り込んでいきたい。	（事務局）

委員による意見交換（野洲駅南口について）	
・巡回バスの乗降場はどう考えているか。	（委員）
・巡回バスも、バスの乗降場3箇所を使用するよう位置付けている。	（事務局）
・インターロッキングは、事務局としてはパターン1を採用したいと説明があったがいか が。特に要望がないようなのでパターン1とする。	（委員長）

委員による意見交換（その他について）	
・次回委員会は、地域の方に2名程度の出席していただき意見を聞きたいと考えている。 人選については、北口の自治会長と協議して決めたいと思う。	（事務局）
・2名に限定されているのか。旧中主町の方も参加いただくべきと思う。	（委員）
・増加人数等については委員長と相談して決定し、次回には臨時委員という形で参加して いただく。	（事務局）

■ 今後の予定

- ・ 次回は、北口駅前広場整備計画について、頂いたご意見・ご提案を踏まえ、案の修正、
絞込みをする。日程については、5月下旬頃で調整する。